

平成27年7月13日

「ふるさと通信～知ろう 語ろう『伊賀地域』～」を県内の児童生徒（約14万人）に配付します

三重県教育委員会は郷土教育を推進するため、児童生徒向けの「ふるさと通信～知ろう 語ろう『伊賀地域』～」を作成しました。

児童生徒が、伊賀地域についての理解を深め、その素晴らしさを語るができるよう、7月中旬に県内の国・公・私立の小学校（5・6年生）、中学校、高等学校、特別支援学校（小学部5年生以上）の全児童生徒（約14万人）に配付します。

1 作成趣旨について

子どもたちが日本人・三重県人としての自覚と誇りをもって、三重の歴史、伝統・文化への一層の理解を図るとともに、来県者等に三重のよさを語るができることをねらいとしています。

「ふるさと通信～知ろう 語ろう『伊勢神宮』～」(Vol.1)「ふるさと通信～知ろう 語ろう『熊野古道』～」(Vol.2)に続き、今年度は、世界でも多くの人に親しまれている「俳句」や「忍者」などにゆかりのある伊賀地域を取り上げ、「ふるさと通信～知ろう 語ろう『伊賀地域』～」を作成しました。

2 配付対象

県内の国・公・私立の小学校（5・6年生）、中学校、高等学校、特別支援学校（小学部5年生以上）の全児童生徒（約14万人）

3 配付時期

各学校へは、7月13日（月）から16日（木）にかけて配付します。

4 児童生徒への指導について

各学校では、各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等において、ふるさと通信を活用し、児童生徒に三重の歴史、伝統・文化への一層の理解を図るとともに、三重のよさを語るができる力の育成に向けた指導が行われます。

5 その他

- ・ 「ふるさと通信～知ろう 語ろう『伊賀地域』～」は、児童生徒がいつでもどこでも来県者等に説明したり示したりすることができるよう、常時携帯できるポケットサイズとしました。
- ・ 今回のふるさと通信は、一昨年度発行の「ふるさと通信～知ろう 語ろう『伊勢神宮』～」(Vol.1)、昨年度発行の「ふるさと通信～知ろう 語ろう『熊野古道』～」(Vol.2)に引き続き、Vol.3として発行するものです。